

関西医科大学総合医療センター救命救急センターを受診された患者さま（および
その保護者さま）へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学総合医療センター・研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 小児科を受診する心身症・神経発達症・成長障害患者の低亜鉛血症の実態に関する診療録調査

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学総合医療センター・小児科 教授 石崎 優子

《研究の目的》 亜鉛は約300の酵素の活性化に必要であり、その欠乏により、身体発育、皮膚の代謝、生殖機能、味覚異常、精神症状等が引き起こされます。神経発達症の偏食や摂食障害による摂取不足によっても亜鉛欠乏が起こりえます。本研究では、小児科を受診する患者の低亜鉛血症の実態を診療録調査により明らかにすることを目的としています。

《研究期間》 研究許可日～2024年3月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

2013年9月1日から2022年8月31日までに関西医科大学総合医療センター・小児科を受診し、血中亜鉛を測定した患者。

●研究に用いる試料・情報の種類

1)患者背景（年齢、性別） 2)診断名、身長、体重、食事内容、治療 3)血中亜鉛

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《この研究による患者さんのメリット・デメリットについて》

研究参加によって患者さんが受けるメリット・デメリットはありません。この研究により低亜鉛血症患者の実態を知り治療を普及させれば、亜鉛欠乏症状が改善し公益に資する可能性があります。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

* 上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学総合医療センター・小児科 石崎優子

電話：06-6992-1001(代) PHS41604 FAX 06-6993-5101

e-mail：ishizaky@takii.kmu.ac.jp